

手をたずさえて

“富中PRIDE”～自信と誇り～

- 自ら学ぶ生徒
- 正しく行動する生徒
- 健康でたくましい生徒



平成31年1月15日(火)発行
【発行責任者】郡山市立富田中学校長 熊坂 洋

福島県体育協会“優秀選手賞”野矢君受賞!

3年野矢育夢君が、全国的にきわめて優秀な成績をあげ、福島県スポーツの振興に多大な貢献をしたということで、福島県体育協会より“優秀選手賞”を受賞しました。水泳競技50m自由形での全国第2位をはじめとする各種大会での野矢君の力泳が認められました。1月8日(火)に福島市において表彰式が行われました。野矢君の泳ぎは何度も目にしましたが、爆発的な推進力が印象的でたくさんの感動をもらいました。受賞おめでとうございます。



『ふくしまを十七文字で奏でよう 絆ふれあい支援事業』 “復興部門 佳作”受賞 佐久間君



1月11日(金)に福島県教育庁県中教育事務所の伊藤次長と岡部社会教育主事が来校され、『ふくしまを十七文字で奏でよう 絆ふれあい支援事業』の“復興部門 佳作”に輝いた2年佐久間陽太君への表彰が行われました。『ふくしまを十七文字で奏でよう 絆ふれあい支援事業』は、平成14年度より実施



されており、「子どもと大人のペア」もしくは「子どもと子どものペア」で五・七・五の十七文字を表現するものです。日常生活の共通体験に関する“絆部門”と震災体験、復旧・復興に関する“復興部門”とがあり、優秀な作品が表彰されます。今回、4万以上もの多くの応募作品の中から佐久間君がお母さんとのペアで

応募した作品が見事“佳作”を受賞しました。佐久間君は伊藤次長から賞状を受け取りました。次が受賞作品です。

震災時には、 命の大切さは もちろん、家 族や友人などの周りの人々、水、電気、温かい食べ物などのありがたさをしみじみと実感しました。普段はなかなか気づくことのできない当たり前のことのありがたさ…佐久間君とお母さんの作品からあの想いが蘇ってきました。そして、佐久間家の温かい親子関係というものも垣間見ることができました。	震災を 皆乗り越えて 笑顔咲く (佐久間君)
	平凡な 日々に感謝と 気づかされ (佐久間君のお母さん)

これからの時期 気をつけたいこと

～積雪・凍結時の登下校に注意を!～

まだ本格的な積雪はありませんが、今後積雪・凍結する日が必ず来ます。登下校には十分注意してください。積雪・凍結時にはできるだけ自転車は使用しないこと。したがって時間に余裕をもって行動することが大事です。また、自分が気をつけていても、近くを通る車等がスリップする可能性もあります。狭い道もたくさんあります。周りの状況にも細心の注意を払いながら、歩行するよう心がけてください。「念には念を入れよ」です。

新春を飾る生け花

今年も新年早々より、職員玄関には、船越さんによる生け花が飾られています。新春らしいとても華やかな生け花です。来校された方も、玄関に入るとまず目をひくその生け花をきれいですねと言ってくさっています。船越さん、いつもありがとうございます。今年もよろしくお願ひいたします。



受験に挑む3年生のみんなへ

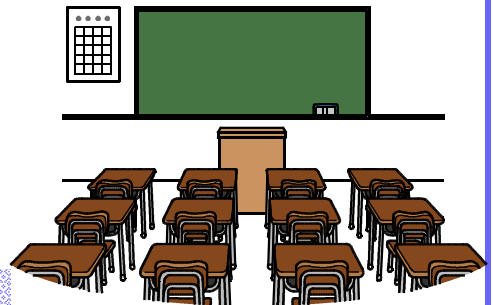
“人事を尽くして天命を待つ”

もうすでにいくつかの私立高校や専修学校の入試が行われていますが、16日（水）の帝京安積高校の推薦入試を皮切りに高校入試が本格化します。高校入試、大学入試、採用試験等、人生の節目となる試験には、「緊張」がつきものです。緊張しない人なんてほとんどいないのではないのでしょうか。しかしながら、極度の緊張で本来の実力を発揮できなかった、という事態だけは避けたいものです。そのためにも、発想の転換が必要だと思えます。

「緊張するのはよくないこと」という思い込みを捨てましょう。緊張は生物に備わっている自然の反応です。無理に緊張しないようにすると不自然になります。緊張すること自体は悪いことではないどころか、必要なことなのです。例えば「緊張」という言葉に「感」という一文字をつけてみてください。たった一文字足して「緊張感」にただけで、マイナスのイメージがプラスイメージに一転します。「緊張感がある」ということは好ましいことですし、「緊張感」がないというのはマイナスです。人は大事な局面で緊張感を持って事に当たる人を好ましく思うものです。緊張は消し去るものではなく、上手に付き合っ味方にするべきものです。緊張は過剰になると冷静さを欠いて失敗を招きますが、コントロールすることができるようになると強い味方になってくれます。緊張は消し去るべき恐る対象ではないということ。味方につけて生かすことで、自分の心だん以上の力を発揮することもできるのです。

そして、「人事を尽くして天命を待つ」という気持ちも大切です。「人事を尽くして天命を待つ」とは、「ベストを尽くしたあとは、心を静かにして運を天に任せる」という心境をたとえる言葉です。自分自身を落ち着かせるために、ぜひそのような心境であるべきだと言いついてみてください。

受験生たちの健闘を心から祈っています！



お疲れ様でした！多くの感動をありがとうございました！吉田沙保里選手

1月8日、女子レスリングに大きな足跡を残した吉田沙保里選手が現役引退を発表しました。2004年アテネ、08年北京、12年ロンドン五輪で五輪3連覇を達成。16年のリオデジャネイロ五輪では銀メダルを獲得しました。12年には国民栄誉賞も受賞しました。世界大会16連覇、個人戦206連勝を記録し、「霊長類最強女子」の異名を持つ彼女ですが、惜しまれつつも引退表明となりました。実はこの吉田選手、当時の監督榮和人氏とともに、2015年（平成27年）11月7日に本校に来校され、本校30周年記念式典記念講演を行っています。この模様は当時TV放映され、私もリアルタイムで観たことを覚えています。

1月10日には、彼女の引退記者会見が行われましたが、同日彼女に縁のあった本校にも福島テレビの取材が入り、穴戸先生と笠井先生がインタビューを受け、夕方のニュースでその模様が放映されました。穴戸先生曰く、「吉田選手にはとてつもないオーラがあった」そうです。記念講演では、話だけでなく、生徒との質疑応答や生徒とのレスリングの実演も行われ、とても盛り上がったそうです。

1月10日の記者会見での「今までで一番印象に残っている試合は？」との質問に、彼女は2016年のリオ五輪の決勝戦と答えました。五輪4連覇のかかった試合で、惜しくも敗れ銀メダルとなった彼女の最後の公式試合です。理由は「敗れる者の気持ちがあった」からだそうです。その想いになるほどと納得しました。

長きにわたり女子レスリング界を牽引された吉田選手、本当にお疲れ様でした。そして、多くの勇気や感動をいただき、ありがとうございました。選手以外の別な道でのご活躍を祈っています。

